

# がいろめ倶楽部たより



## 新年度開始にあたって

学校五日制が始まり、土曜日が休日の子供達をどう過ごさせるかが問題となった時、その受け皿として博物館としての利用が取りざたされた。当時、多くの博物館が教育委員会の所管であったため、学校教育の延長として好都合であったのであろう。それぞれの博物館で、子供向けの教育プログラムやワークショップが、一斉に企画された。しかし、博物館までの交通や校外活動への制約等の事情で、思ったほどの効果は上がらなかった。その後、社会教育の概念が生涯学習へと変化し、その観点から博物館が見直しされるようになった。少子高齢化の時代に、博物館への期待が増大したとも見られる。

最近、政治家から学芸員の存在が危ぶまれる発言があった。勿論、無知から来る発言であるが、それほど少数意見とも言えないところが問題である。今、団塊の世代がリタイアし、元気な高齢者が増えると共に、シニア向けのカルチャー教室や旅行が大盛況である。しかし、マスコミで大きく取り上げられる展示会以外、博物館への関心は薄い。ちなみに、ある旅行会社のツアー企画を見てみると、グルメと買い物、世界遺産の見学で終わっており、博物館を見学するコースはほとんど無い。働き蜂の団塊の世代は、博物館とは縁が薄かったのであろう。このところ、若い女性の中で、「歴史」や「城」、「刀剣」がブームであるという。ゲームやコミックの影響と言われるが、それでも博物館にとっては、有難いブームといえる。今後は、彼女達の興味を、どう博物館へ結び付けて行くかが課題である。それは、五年目となる、やきもの文化と芸術振興協会にとっても同じである。

理事長 浅田 員由

## ◎「定時総会」開催結果の報告

### ◆平成28年度事業・会計報告と平成29年度事業計画の発表がありました。

5月13日(土)愛知県陶磁美術館 1階展示説明室で開催されました。

午後1時30分から出席者 113名(内委任状86名)のもと、議案の審議が行われました。

第1号議案:平成28年度事業報告:谷事務局長から報告され、可決されました。

第2号議案:平成28年度会計報告:富田会計担当から報告、西村監事から監査報告があり、可決されました。

平成29年度事業計画:谷事務局長から発表されました。



愛知県陶磁美術館総務課長のご挨拶をいただきました。総会開始前には、総会会場隣で例年のように、会員お手製の桜湯の接待がありました。総会後はお茶と菓子を戴きながら、和やかな雰囲気でお話を楽しまれました。

#### ◆「NPO 会員による第 4 回陶芸作品展」が実施されました。

今年度も、会員による陶芸作品展が開催されました。出品者14名作品25点の出品を得て、総会の前後に作品鑑賞しました。今年も、力作揃いで出品者の腕の上達を実感され、一人2点の投票券をもって人気投票をして頂きました。票が分かれ、1位は木下貞之様、2位は小島久雄様、渡辺和雄様、樋田義正様が受賞され、3位は無しとなりました。特別出品として大津先生その他、谷様、山田様から力作を協賛展示していただきました。



#### 4 月～5月活動報告

#### ◆「浅田先生を囲むやきもの談義」が開催されました。

4月13日(木) 本館1階展示説明室 講師:浅田 員由

新年度初回のやきもの談義です。「邪馬台国と弥生土器」をテーマに、弥生後期の土器の変化



について、壺や甕の形状や文様がどのように変化したか？卑弥呼の国家形成や、農耕の変化と共に変化していく様子を図録と共に解説。また、土器の大移動が始まったことを出土品から分析・解説。これは纏向地域で、各地からの土器が大量に出土している事実から分かることが紹介されました。墓制も北九州から尾張まで、地域ごと時間毎に変化している事を学びました。今回は、やきもの談義のあと

に、お菓子とお茶をいただきながら、談話会が開催され、楽しいひとときを過ごしました。(4月13日参加者 25名)

5月11日(木) 本館1階展示説明室 講師:浅田 員由

やきもの談義開始の前に、「博物館の定義」について解説がありました。これは某大臣のガン発言があったことを契機に、博物館法をもう一度見直し、変化してきた状況から現状を把握する解説をいただきました。やきもの談義は「倭の五王の時代のやきもの」をテーマに卑弥呼から倭の五王までの空白の一世紀を展望し、倭国の王権が確立する経緯を学びました。高句麗と倭国の軍事展開、南朝宋への倭国の外交、そして、須恵器が北九州から東海に展開され、古墳の近くに陶器窯が築かれていたこと、須恵器が各地へ拡大していく様子を目前に展開して下さいました。(5月11日参加者 20名)



#### ◆「伝統のやきもの瀬戸・美濃焼—古瀬戸成立の過程」が開催されました。

5月21日(日) 本館地下1階講堂 講師:愛知学院大学 藤澤良祐



遺跡・遺物を研究対照とする考古学を専門とし、その視点から古瀬戸についてお話下さいました。まずは中世の窯位置を山茶碗の型式別にプロットした地図で概要を理解しました。古瀬戸の変遷について、草創期の12世紀中期から後期様式の15世紀後葉まで、釉薬と文様が変化していく状況を編年表や図で解説されました。古瀬戸は形状・釉薬・文様を中国陶磁を手本にしているのも、断面図の示す形式や文様拓本から理解しました。東海地区での中世窯とそこで生産される特殊品、また、地域毎に競合したり、分業・補完する関係を明らかにしていただきました。資料片手に講演を伺うのは、久しぶりに学生にもどった気分を味わえました。(参加者:42名)



◆「中国考古学のつどい 夏王朝—二里頭遺跡の評価—」が開催されました。



5月26日(金) 本館1階展示説明室 講師:田畑 潤  
中国の殷は、考古学的に実在が確認されている中国最古の王朝。その殷の前にあった夏の遺跡が二里頭遺跡であるという内容で、とても興味深く聞くことができました。豊富な写真や資料を使い、分かりやすく話を進められました。二里頭遺跡の出土品を見て、触ることもでき、とても有意義な時間でした。(参加者28名)

◆「茶畑で茶摘み & 緑茶を手作り」が開催されました。

5月22日(月) 南館 東側の茶畑/展示説明室

朝9時から茶畑集合して、植え付けてから4年経過したお茶摘みです。陶磁美術館環境整備ボランティアのメンバー約20名。美術館館長、副館長を始め、元副館長の仲野様、茶畑生みの親である元課長の森様を交えて、茶摘み指導には抹茶の西尾から稲垣様をお迎えし、茶摘みの仕方をお教え頂いて開始。茶畑すべての茶葉を摘むことは出来なかったものの、まずまずの収穫でした。



10時からは、会場を本館展示説明室に移し、新茶作りです。NPO やきもの文化と芸術振興協会主催の手もみ緑茶作りの体験開始です。西尾の稲垣様のご指導と、茶もみレシピに従い、乾燥・手もみの繰り返しで緑茶を作り上げました。早速出来上がりの緑茶の良い香りを味わい、また、西尾の茶葉を臼で挽き抹茶にし、稲垣様差し入れの生菓子と共に、美味しく味わいました。多く残った茶葉は捨てるに惜しく、自宅でレシピに従って緑



茶に挑戦する方々が持ち帰りました。

●今後の講座ご案内

◆やきもの大学

平成29年度前期講座のテーマは『伝統のやきもの 瀬戸・美濃焼』です。

第3回「美濃桃山陶の成立と展開」 講師:加藤 真司 7月9日(日)午前10時30分から

第4回「研修旅行」9月27日(水)バス日帰りで瀬戸・多治見を巡ります。同封チラシご覧下さい

◆勉強会、学芸員によるつどいが、次の通り開催されます。どなたでもご参加頂けます。

浅田先生を囲む勉強会

「やきもの」の歴史を楽しく学ぶ集いです。7月13日 第二木曜日

時間: 午前10時~12時 会場:愛知県陶磁美術館 本館1階展示説明室

◆「中国考古学」のつどい

講師:田畑 潤 (陶磁美術館 学芸員)

7月28日(金)午前10時30分~12時 「殷(商)王朝—王墓と埋葬儀礼」

9月22日(金)午前10時30分~12時 「周王朝—王朝と周辺文化—」

会場:愛知県陶磁美術館 本館1階展示説明室

◆「考古学とやきもの」のつどい

講師:大西 遼 (陶磁美術館 学芸員)

8月25日(金)午前10時30分~12時 「考古学って何だ?—意外と簡単!?意外と楽しい!?!—」

1月26日(金)午前10時30分～12時 「足下に眠る1086窯のエネルギー-猿投窯と考古学-」  
会場:愛知県陶磁美術館 本館1階展示説明室

### ◆中国三大陶都の一つ「徳化」と世界遺産「福建土楼」を訪ねる7日間

平成29年8月16日(水)～22日(火)6泊7日

廈門から泉州市へ、開元寺海外交通史博物館などを巡り、徳化で博物館・窯遺跡を見学、南靖で世界遺産の南靖田螺坑土楼群などを訪れ、廈門で博物館・漳州窯遺跡見学、コロンブス島観光や市内観光します。元陶磁美術館学芸課長森達也先生が同行説明いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。募集締切は7月3日(月)です。申込はお急ぎ下さい。

### ◆特別講座・水中考古学

琵琶湖『湖底に沈んだやきもの』 講師:中川 永(豊橋市文化財センター)  
9月10日(日)午後1時30分から 会場:愛知県陶磁美術館 地下1階 講堂

### ◆「瀬戸・美濃焼」研修旅行

平成29年9月27日(水)日帰りバス旅行が決定しました。

「やきもの大学」講座で学んだ瀬戸・美濃についての、研修旅行行程が決まりました。詳しくは同封チラシをご覧ください。

## ●ご案内

◆レストラン「とうじ」で、当NPO会員は、職員定食を500円で召し上がれます。また、コーヒーは300円(通常350円)でいただけます。注文時にNPO会員であることを告げ、衝立の奥のテーブルが食事場所となります。混雑時配膳が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

◆県民茶室「陶翠庵」では、一服550円の抹茶・菓子が回数券(10枚4000円)でご利用頂けます。NPO会員の特典でお得です。回数券はお友達同士でお分けいただくこともできます。

## ◎がいろめ倶楽部 入会のご案内

◎会員はいつでも募集中です◎

入会をご希望の方は郵便振替で年会費をお振り込みください。(住所・氏名・連絡先明記の上)  
郵便振替口座 記号番号 00890-9-152071 加入者名 トクヒ)やきもの文化と芸術振興協会  
年会費(4月から翌年3月末まで)正会員3000円、家族会員(同住所2名)5000円となります。

(年度内10月以降に入会される場合は、その年度の会費は、正会員1500円、家族会員2500円です)

特定非営利活動法人やきもの文化と芸術振興協会は愛知県の認証を受け平成25年4月に設立されました。愛知県陶磁美術館を主たる活動場所として皆様に「やきもの」への関心を深めて頂く機会を提供すること等を活動の目的としています。がいろめ倶楽部はこのNPO法人の愛称です。

瀬戸で採れる陶磁器原料の「ガイロメ(カエルの目)粘土」からキャラクターはカエルです!

発行元 : 「NPO 法人 やきもの文化と芸術振興協会」事務局  
住所 : 〒489-0875 瀬戸市緑町2-43  
お問い合わせ: 電話番号: 090-5850-6969 (谷)  
メール: yakimono.bunka@gmail.com  
ホームページ: <http://yakimonobunkajimdo.com/>  
郵便振替口座: 記号番号 00890-9-152071  
加入者名 トクヒ)やきもの文化と芸術振興協会